

## 在日米陸軍関係者における新型コロナウイルス感染症の感染者の 確認について

在日米陸軍基地管理本部から、在日米陸軍関係者が新型コロナウイルス感染症に感染したことについて、次のとおり情報提供を受けましたので、お知らせします。

- 9月8日から9月15日にかけて、在日米陸軍関係者15名が、新型コロナウイルス感染症の検査の結果、陽性と確認された。
- 1名は、日本到着時に日本の当局者による検査を受けた。
- 2名は、日本到着後、行動制限下にあったが、在日米陸軍が課している新型コロナウイルス感染症行動制限措置の一環として検査を受けた。
- 1名は、新型コロナウイルス感染症の症状を訴えたため、直ちに医療関係者の検査を受けた。
- 9名は、以前陽性が判明した者の濃厚接触者と確認されたため、検査を受けるまで隔離されていた。
- 2名は、在日米陸軍が課している新型コロナウイルス感染症旅行前措置の一環として、検査を受けた。
- 15名全員は、新型コロナウイルス感染症陽性者としての隔離措置の下に移行し、当該隔離措置は、医療関係者が許可するまで続けられる。迅速な接触者追跡及び隔離を実施したため、地域社会に対するリスクに影響はない。
- 在日米陸軍は、兵士・職員、日本人職員、家族と地域社会の皆様を守るため、新型コロナウイルス感染症の流行を防ぐ追加的公衆衛生保護措置を採り対応している。

市長は、本日、在日米陸軍基地管理本部副司令官と電話会談を行い、上記内容について説明を受けました。

市長及び在日米陸軍基地管理本部副司令官は、引き続き情報共有を図りながら、感染拡大防止のため、互いに協力することを確認しました。